資料４

経産省 エンタメ・クリエイティブ政策研究会

現状と課題

ＭＯＡ美術館館長　内田篤呉

需要のミスマッチ

現状①

- ✓ 海外ラグジュアリー層からの需要は高まっているが、需要を十分に取り込めていない。
- ✓ 国内でも、工芸品の歴史や職人技術など、本質的な価値が十分に伝わっていない。

問題点①

「売れない」ではなく、
「売り方が変わってきている」
量産できない・しない産業だからこそ目指すべき姿は何か？

産地の経営力低下

現状②

- ✓ 産地の事業者は、中小零細が中心で、マーケティング・経営人材が不在。
- ✓ ブランド力・価格交渉力の低さに繋がっている。

問題点②

手仕事の価値が経営に反映されていないのではないか？
一方で手仕事以外の工程にコストが掛かっていないか？

人材不足（外部人材の活用不足）

現状③

- ✓ 従事者の高齢化が進み、全体数も減少傾向。
- ✓ 生活基盤の不安定さ、技術継承の難しさにより、継承者の減少にさらなる拍車がかかることが懸念される

問題点③

産地内の人材不足が深刻な今、
販売の役割も担うべきか？
製品価値を正しく伝える人材を活用する可能性は？

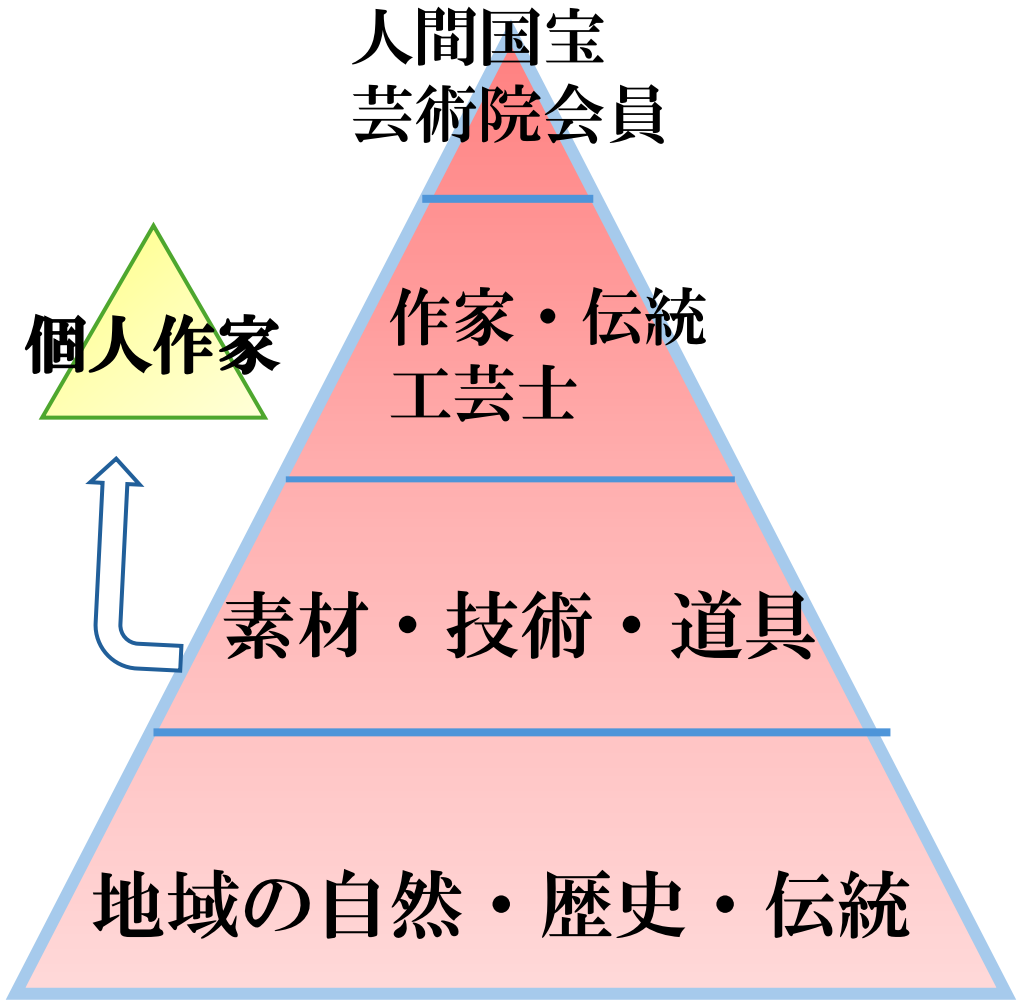
- 課題１　需要のミスマッチ
- 課題２　産地の経営力低下
- 課題３　人材不足（外部人材の活用不足）

提言

クリエイティブ産業と伝統的工芸品との連携
産地の構造改革

産地構造の現状

工芸の「文化優先」と「経済優先」の統合モデルの構築



文化優先の伝統工芸

文化庁：文化財保護法

芸術上価値が高く、又は工芸史上重要な地位を占め、かつ、地方的特色が顕著なもの

経済優先の工芸

伝産法：**産業として振興**

- 地域製造業の基盤強化
- 産地の雇用創出や所得安定
- 地域ブランドの向上

産地日本文化に果たす役割

指定「伝統的工芸品」244品目

業種	品目数	品目例
織物	38	博多織、西陣織、久留米絣　など
染色品	14	加賀友禅、琉球びんがた　など
その他繊維	5	伊賀くみひも、京繍　など
石工品	4	出雲石燈ろう、岡崎石工品　など
貴石細工	2	甲州水晶貴石細工、若狭めのう細工　など
人形・こけし	10	江戸節句人形、京人形　など

全国各地の伝統的工芸品

全国には産地の数だけ地方文化がある
工芸が消失すると、邦楽・舞踊・和食などあらゆる日本文化が消失

伝統的工芸品のポテンシャルと脅威

①世界市場への拡大

②インバウンド需要

③工芸ブランドの向上

（産地の構造改革、クリエイティブ産業との連携、伝統的工芸品公募作品展 など）

④中国の成長脅威（国家級荊州伝統工芸工房・長江芸術工程職業学院）